

(事例58) 27歳男性、デスクワーク、拡張型心筋症のための時間外労働禁止

類型	症候	疾患
1	6. Xpでの心陰影拡大	4. 拡張型心筋症

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 27歳男性 特記事項なし</p> <p>2) 業種、作業内容 デスクワーク</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 疾病名：拡張型心筋症 所見：健康診断における胸部レントゲンによる心陰影拡大</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 月45時間以上の時間外労働禁止</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 定期健康診断にて、胸部レントゲンによる心拡大陰影を指摘され精密検査を実施した。 拡張型心筋症と診断され、産業医面談を実施し、健康配慮上の観点から月の時間外労働を45時間以内とした。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい</p> <p>就業制限については、事前に主治医からの就業上の配慮に関する意見書を聴取した。 時間外労働と心血管系のリスクについて、本人および職場関係者も交えてミーティングの機会をもち合意の上、上記制限を実施した。</p>		